



鳥取県生協では、平成 21 年に鳥取県、市町村が支援する「とっとり共生の森」事業に参画し、鳥取県・倉吉市と 10 年間の維持管理契約を結びました。これまで、対象となるCO・OP虹の森(倉吉市富海地内の共有森林)を中心に地域の関係団体や地元の方々との交流も大切にしながら、下記の目的に沿って森林保全・育林活動等に継続して取り組んできました。



【1】目的

- ①「とっとり共生の森」事業活動を通じ、森林環境保全や地球温暖化防止の取り組みに関与し社会貢献活動の一環として取り組む。
- ②地域住民、組合員家族や生協職員を対象に、森林づくり作業や自然観察、森林教室等を行い、森林や地球環境保全への意識の向上を図る。
- ③森林づくりに取り組むことにより、組合員や地域の皆様と一体となった CO2 削減の取り組みを推進する。

【2】取り組み概要

①森林保全活動

平成 21 年 5 月 9 日(土)に第1回の交流イベントを兼ねた保全活動を実施し、組合員や地元の方々、行政、生協職員とその家族等総勢約 200 名が山の斜面などにトチノキ・ヤマザクラ・ケヤキ・ミズキ・コナラなど約 800 本の苗木を植えました。同様の植栽活動は、平成 22 年 11 月、平成 23 年 11 月にも継続して実施しました。平成 24 年以降は、「CO・OP虹の森」の状況も見ながら、杉の木の枝打ち(~平成 26 年)、平成 27 年からは間伐、玉切、枝払い作業を中心に、保全活動を継続しています。

②交流活動

森林保全活動のみならず、地元の間伐材を使用したコースター作りやしいたけの植菌体験、地元産の野菜などを使用した豚汁での交流、自然観察会や巣箱作りを通じた自然への関心を高める取り組みを行ないました。

【3】今後に向けて

当生協では2020年ビジョンとして、「鳥取の豊かな自然の恵みを大切に、家庭や地域で溢れる笑顔と人々のつながりを創ります」を掲げています。また、ビジョンの実現に向けて、「地域社会づくりへの参加」や「持続可能な社会の実現」というテーマも大切な視点として捉えています。「とっとり共生の森」への参加は、まさにその方向性を具現化するものであり、この間の取組みは大変有意義であったと確信しています。

今後の課題としては、このような取り組みを組合員・地域住民にどう広げていくか、また、活動の担い手どのように育んでいくか、そして持続的な取り組みとしていけるか、という視点が重要ですし、これは「とっとり共生の森」に限らない、誰もが安心してくらす地域社会づくりに向けた共通の課題として位置付けることができると思います。

そのような視点で、当生協では、これまでの活動をより発展的に継続していく中で、倉吉市富海の皆さんや協力団体の方々との絆をよりいっそう大切にしながら、生活協同組合としての役割を今後も果たしていきたいと考えています。



(COOP 虹の森看板)



(第1回植栽活動のようす)



(第4回植栽活動のようす)



(職員も参加し頑張りました)



(間伐・枝払いの体験の様子)



(しいたけの植菌作業)



(コースター作り)



《「とっとり共生の森」森林保全・管理協定の概要》

- 1 調印日 平成21年2月13日(鳥取県生活協同組合、倉吉市、鳥取県)
- 2 協定森林 倉吉市富海 11.1ha
- 3 協定内容 鳥取県生活協同組合が、倉吉市、鳥取県と協力し、植栽、下刈り、枝打ち、間伐、作業道・作業歩道整備などの森林保全活動を実施する。
- 4 協定期間 10年間(平成21年2月13日～平成31年2月12日)
- 5 活動実績
 - H21. 5. 9 広葉樹植栽(800本) 参加者 200名
 - H22. 11. 6 広葉樹植栽(800本)、巣箱の取付け 参加者 180名
 - H23. 11. 5 広葉樹植栽(800本) 参加者 130名
 - H24. 11. 10 リレー植樹、枝打ち、しいたけの植菌 参加者 150名
 - H25. 11. 9 枝打ち、しいたけの植菌 参加者 約100名
 - H26. 11. 8 枝打ち、しいたけの植菌 参加者 約160名
 - H27. 11. 7 間伐、玉切・枝払い作業など 約120名

イメージ
キャラクター
とどみん

